

東海大学放送研究部 OB 会
平成 23 年度 第 1 回役員会議事録



日 時 : 平成 23 年 11 月 20 日 (土) 15 時～18 時
場 所 : ルノアール新宿区役所横店 3 号室
出 席 者 : 吉田、今宮、佐藤(一)、小林(三)、橋本、山田、坂代、佐藤(貴)
現役 : 荻原、坂井 (敬称略) 以上 10 名

議 題

1 OB会名簿の作成・管理について

(1) 原本管理者と運用管理者

吉田さんのご協力で、創立時から直近まで、未加入者を含めてOB591名の名簿がデータベース化され、管理用ツールが提供された。本ツールにより、項目ごと、利用目的別に抽出することが可能となった。

ファイル原本の管理者と、利用にあたっての管理者を別におき、適切に管理を行う。

(2) ファイル原本はOB会が保管し、現役には印刷した一覧表を提供する。住所等の変更があった場合は、双方がその都度連絡し速やかに修正する。

(3) 放研現役がOB宛への発送物(AirTBC など)がある場合は、OB会で宛名カード等適宜必要情報を作成して提供する。(原則として放送研究部担当者宛に郵送する。)

(4) 名簿の活用方法を共有してもらうため、役員には管理ツールの操作講習会を行う。

また、今後現役の就活支援を目的とした「勤務地」、「職種」などの項目を追加してはどうかという意見があり、内容の充実と活用方法をさらに検討することになった。

(5) OB会役員は正会員名簿(現在 70 名分)のみを各 1 通保有する。

2 来年(平成 24 年)度定期総会の議題および開催予定日について

(1) 総会開催日の変更についての検討

- ・ OB会創立以来、9月の敬老の日を含む3連休のいずれかの日に総会を開催しているが、11月の建学祭に行われるホームカミングデーとの日が近いので、再考したらどうかという意見がある。(現行の年度区切りは当年9月から翌年8月末まで)
- ・ 総会開催日の変更は、年度区切りの見直しと関係するので検討を要する。
- ・ 今後現役が卒業とともにOB会へ自動加入となった場合、年度を当年4月～翌年3月末とし、5月に総会を開き、新入会員歓迎を兼ねることが出来れば、時期見直しのメリットは大きい。
- ・ 総会の開催日の決定や年度区切りの変更は、現役放研部活動と大学行事スケジュールなどとの関連もあるので、事業計画、予算の組み方などについて、全体をみた調整をする必要がある。

- ・ 年度区切りの変更に向けて、具体的な問題点、必要な移行措置などを、引き続き役員会で検討し、次回定期総会に諮ることにする。

(2) 次回「第6回定期総会」開催日について

- ・ 来年の定期総会は、平成24年9月22日（土）に予定し、HPに掲載する。

3 次期定期総会での役員改選について

具体的な人選等については、現段階では検討しないが、仮に退任する役員が出た場合、新たな役職を作って処遇するなどの必要性の有無を討議した。

討議の結果、退任が予定されている役員の意志もあり、また今後のことも考慮して、新たな役職は作らないこととなった。

ただし、役員のメーリングリストには残し、引き続き情報を提供することで随時意見を聞けるように配慮する。

4 合同（OB・現役）役員会の開催について

例年3月に開催している合同役員会を、今回は3月10日（土）、11日（日）又は同月17日（土）、18日（日）のいずれかで開催出来るよう調整する。

なお、現役の役員人事の関係で、1月中に日程を決定したいとの申し出があった。

5 ホームページのデザイン変更について

現在のトップページに書かれている文章が、“昭和年代のメンバーだけの集まり？”と誤解されるのではないかと指摘があった。

学園史資料センターから提供された、湘南キャンパスの写真サンプルの中から、ふさわしい写真を選定した。新たな解説文の作成を、佐藤（貴）さんと荻原さんをお願いした。

6 そ の 他

OB会メンバーから「現役の合宿に参加してみたい」との意見があったことについて、現役の荻原委員長の意見を聞いた。

現在、年3回（春、夏、冬）それぞれ3、4日間で行われており、基本的にはレクリエーション中心で、期間中討議は数時間程度行われている。

来年度活動の中心となる現在1，2年生の部員は前向きの部員が多いので伝えてみるが、現役のニーズとOBの思いとのギャップが大きいように思われるとのこと。

課題として引き続き情報交換を重ねていくことになった。

（以上）